学校事務

豊中市立学校教育認定研究会

実施日：令和６年７月３日／８月５日

研究テーマ：学校事務を「つかさどる」ための専門的な知見の体系的な追及

研究会の達成目標：

1. 学校のＤＸ化を学校の環境整備の問題ととらえ、これまで学校の学びの環境整備を行ってきた学校事務職員にとっても自らの仕事に直結する問題であることを認識する。
2. 高槻市の共同学校事務室の取り組みを聞き、共同学校事務室が学校事務職員の学校経営参画にどのように寄与しているかについて考える。

活動内容

◎校務 DX 化に関する動画視聴（7 月 3 日）
働き方改革の実現・教育活動の高度化に向けた次世代校務 DX ウェビナーと、文科省「GIGA スクール構想の下での校務 DX について～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」の動画視聴を行い、働き方改革・データ連携・レジリエンスの三つの観点についてグループ討議を行った。
また、今年度構築予定の教育ダッシュボードのイメージと他自治体の活用事例を共有した。

◎高槻市への視察（8 月 5 日）
高槻市小・中学校共同学校事務室支援センターへの訪問をとおして、共同学校事務室そのほか学校事務の取り組みについての視察・交流を行った。
初めに、豊中の共同学校事務室の経緯、歴史を手掛かりに、国の学校事務職員、共同実施関連の主な提言や制度改正を概観した。
高槻市の共同学校事務室の取り組みを聞き、共同学校事務室が学校事務職員の学校経営参画にどのように寄与しているかについて考えた。
後半はグループワークを行い、両自治体の取り組みの比較をとおして、今後の共同学校事務室の在り方を検討した。

今後の活動

次回の研究会では、三認定のケーススタディ／財務規則・財務実践交流の 2 グループに分かれて、取り組みを進めます。